

タイトル 7月7日「そうめんの日」にそうめん給食開催

7月7日は、「そうめんの日」です。

平安時代の宮中では、7月7日の七夕の日にそうめんの原型である「素餅（さくべい）」が供えられ、七夕の日にそうめんを食べると病気にかからないといわれています。

今年も市内小中学校において、7月7日のそうめんの日に、そうめん給食を提供します。

未来を担う子どもたちに、島原手延そうめんの美味しさを改めて知ってもらうとともに、新型コロナウイルス等の病気にならず、元気に過ごして欲しいという思いを込めています。

開催日： 7月7日（木）

開催場所： 市内全小中学校

給食内容： 冷やしそうめん



（過去のそうめん給食実施風景）

担当部署	地域振興部 商工振興課	担当者	池田、黒島、山下
直通	0957-73-6633	E mail	somen@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは ☎			
担当者 連絡先			
		検索ワード	

令和 4 年 6 月 30 日

南島原市商工振興課

令和 4 年度 7 月 7 日そうめんの日
市内小中学校一斉そうめん給食の実施について

○事業の概要及び目的

島原手延そうめんの消費拡大及び食育、地産地消の推進を図るため、7 月 7 日のそうめんの日に、市内の全小中学校においてそうめん給食を実施し、地元の特産品「島原手延そうめん」の美味しさを子供たちに伝える取り組みを行う。

○実施日

令和 4 年 7 月 7 日（木）

○内 容

島原手延そうめんを使用した「冷やしそうめん」を学校給食で提供

○その他

- ・本事業は、平成 23 年（2011 年）から開始し、今年で 12 回目

《そうめんの日とは》

平安時代、宮中の七夕の儀式に供え物のひとつにそうめんの原型といわれる「索餅（さくべい）」が供えられており、索餅を食べると病気にかからないといわれていたことから、昭和 57 年に全国乾麺協同組合連合会が 7 月 7 日をそうめんの日と定め、七夕にそうめんを食べよう普及活動を行っている。